

受変電設備の施工ミスや100V電源の社内試験で発見可能

# 高圧回路用交流低電圧試験装置

特許  
出願中

鉄道・通信・船舶・教育関係  
にも応用可能

受変電設備工事・点検時のこんな課題に!



受変電設備の  
新築・改修・定期点検において、  
短絡・地絡事故が発生



試験業者に依頼しても  
スケジュールリングや  
試験用電源(3Φ200V)の確保が難しい



試験業者の  
品質格差が大きく  
省略されやすい



年数が経過してから  
不備が顕在化すると  
顧客からの信用を失墜!

一般的な100V電源(商用・発電機・ポータブル)で高圧6,600Vの1/100の電圧(3Φ66V)を  
印加し、市販品の測定器(テスター・検相器など)と組み合わせて社内チェックが可能な  
東光電気工事の  
高圧回路用交流低電圧試験装置が解決!

## 高圧回路用交流低電圧試験装置導入のメリット

1

入力電源(100V)は、確保が容易な  
商用電源・発電機電源・ポータブル電源に対応可能

2

置き忘れや外し忘れ等による  
短絡・地絡事故を防止

3

社員でも施工ミス、施工品質を確認でき  
信頼性を向上

4

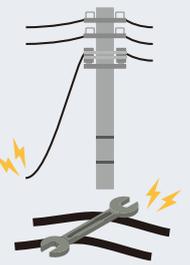
ショートしてもブレーカーで機器の  
保護が可能

### ▶ 高圧回路用交流低電圧試験装置のしくみ

高圧6,600Vの1/100の電圧(3Φ66V)を印加し、高圧ケーブルの  
行先・相回転・電圧比・相の突合せ確認、短絡・地絡を検出します。



相回転の確認



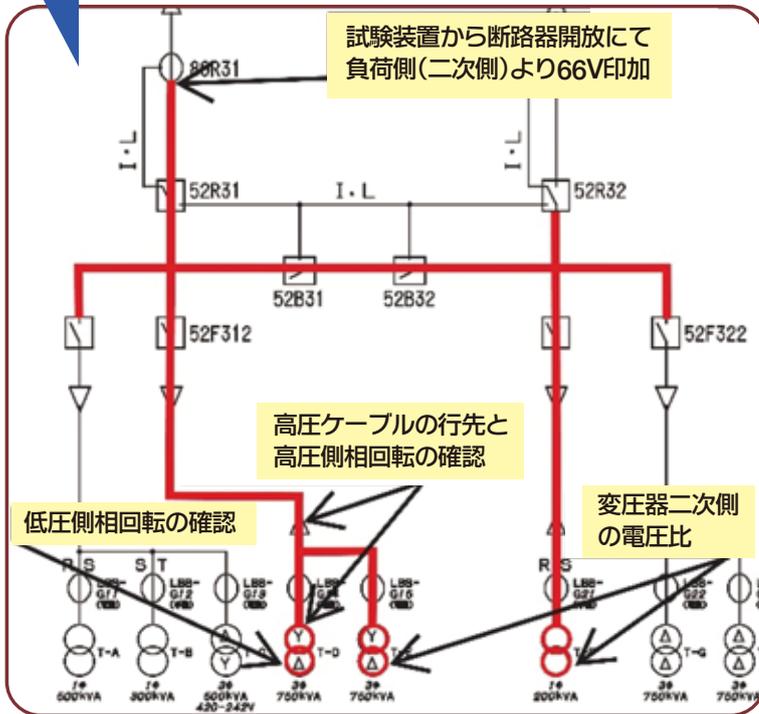
短絡・地絡検出

詳しくは裏面をご覧ください▶

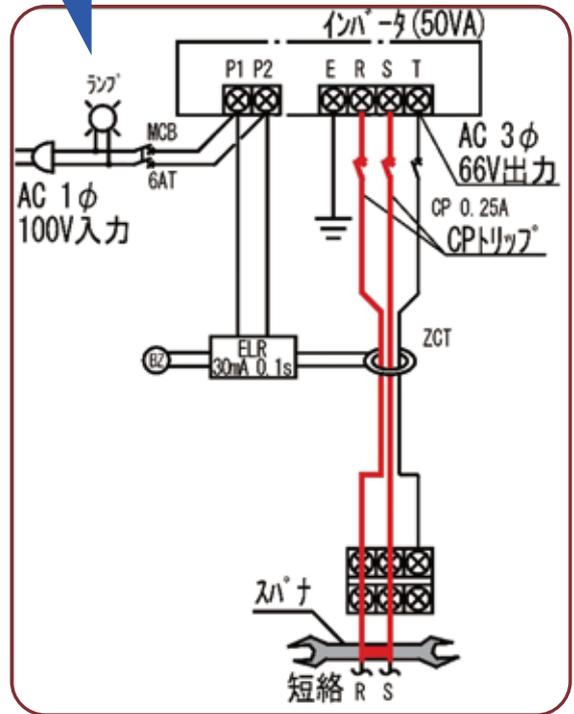
# 高圧ケーブルの行先・相回転・電圧比・相の突合せ確認を効率化

従来は試験用電源の確保、専門試験業者への依頼が必要で実施のハードルが高かった受変電設備の試験を市販品の測定器(テスター・検相器など)と組み合わせて自社内で実施確認可能とし、安全性と工品質の向上に貢献します。

## 高圧ケーブルの行先/相回転/ 電圧比のチェック



## 工具の置き忘れ等による 短絡をチェック



## 絶縁不良、劣化、被覆の傷等 による地絡をチェック

## 異相間短絡を チェック

